

事業概要

コンソーシアム名：社会福祉法人業務IT化協議会

事業概要：社会福祉法人向けに福社会計に最適化されたパッケージソフトと既存グループウェアのワークフロー機能の導入とこれらをつなぐWeb-API連携のシステム開発を行い、一から開発する必要がなく短期間でシステム構築、導入を実現する。

【取組地域】

・秋田県横手市

【対象業種】

・福祉・介護業界

【対象業務】

・予算管理・会計業務等

コンソーシアム構成員

幹事者：社会福祉法人相和会

ITベンダー等：渡敬情報システム株式会社

現状の業務課題

年間の稟議書決裁、申請書類が膨大ですべて紙での申請、他拠点にわたる伺い決裁があり最長で10日以上かかっている。また、予算の使用時の伺い申請と会計仕訳情報が連携していないため予算執行状況の把握や修正が2重業務になっており、事務作業にかかる時間が膨大で、職員の負担となっている。

連携させるITツール

NI Collabo 360：ワークフロー機能
nyoibox（如意箱）：SaaS型DB機能
福祉大臣NX：社会福祉法人会計機能
ワタケクラウドサービス：クラウドサーバー機能

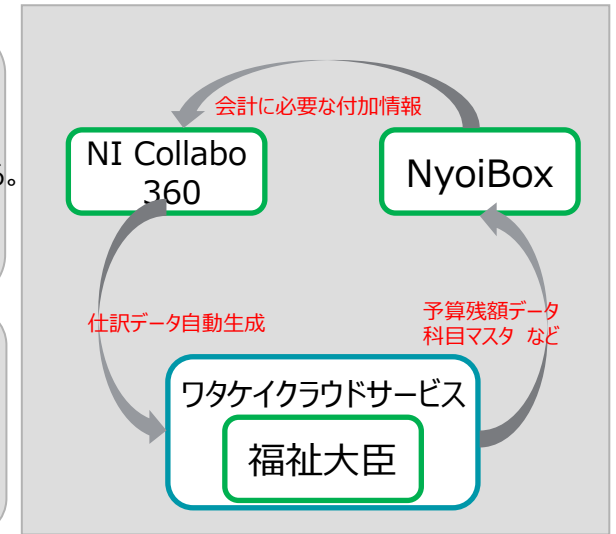
主な取組内容

課題の解決のために本事業で取り組んだこと

- ・予算に係る稟議書の電子化を行い、電子申請が可能になった。また、全事業所で統一様式を使用することで業務の見直しを行い標準化を図っている。NICollabo360とnyoiboxの連携設定は完了しており、申請時の予算の把握ができるようになったことで執行状況の把握や予算に対する承認業務の負荷削減に繋がっている。
- ・福祉大臣で科目の整備・業者マスタの整備を行い、支払管理機能、銀行振込処理機能の設定を実施。IB対応を実施。出金データの自動仕訳が起り入力作業にかかる時間の削減。
- ・ワタケクラウドサービス（IaaS）の構築を行い、福祉大臣とNICollabo360・Nyoiboxの連携テストを行った。

事業終了後、どのようなツールの連携と業務フローを実現するのか

- ・福祉大臣とNI Collabo 360（ワークフロー機能）、nyoiboxをつなぐWeb-API連携を実施。
- ①福祉大臣とnyoiboxの連携を実施することで申請時に確認していた予算執行状況（科目/当初予算/残予算）がリアルタイムで確認可能。
- ②NI Collabo 360（ワークフロー機能）と福祉大臣を連携することで、支出伺いで承認されたデータで仕訳が自動生成され、福祉大臣に起票される。



次年度以降の展望

県内協議会などでITツール活用による効果的・効率的な連携システムとして県内の社会福祉法人、介護事業所、保育事業者への推進を行う。ITベンダーは、今回の事業における実績をもとに同業他社、他地域への展開を行うことと、実際の活用事例としてHPへの記載を行い展開をする。

定量的な成果目標

①労働生産性（事業終了後）

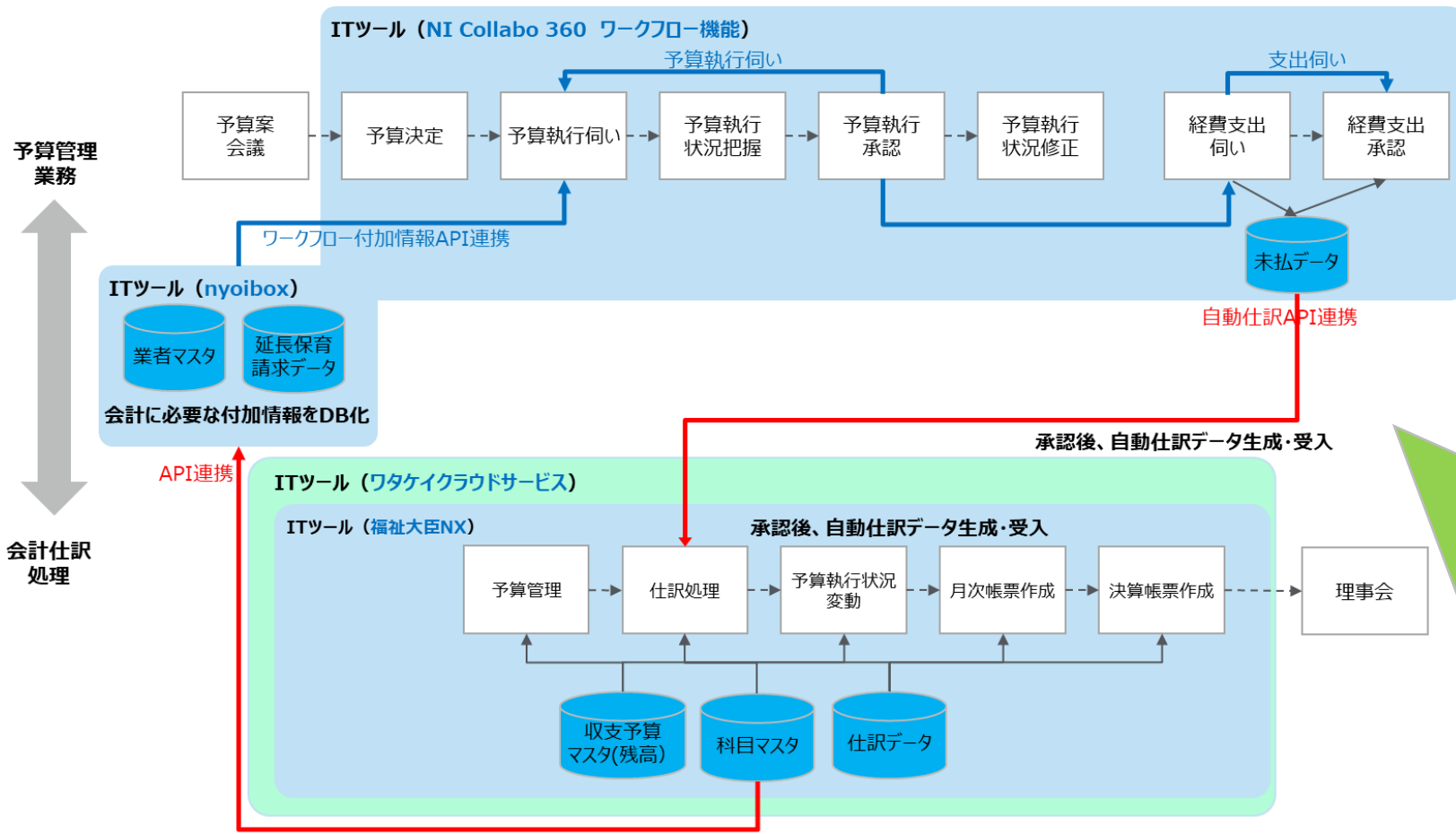
1年後：75.8、2年後：82.2、3年後87.3

②1人当たりの勤務時間（年平均）削減 ※事務処理含む全業務

1年後：2,050時間、2年後：1,980時間、3年後1,920時間

ワークフローシステムと福祉大臣連携によって予算管理業務、仕訳処理業務が大幅に軽減され、全社ベースで労働生産性の向上が4%見込まれる。

ITツールの連携による生産性向上の取組（アフター）



【実績報告までの実施事項】
 NICollabo360とnyoiboxの予算管理業務連携済み。NICollabo360内のワークフロー申請設定実施済み。

【今後実施予定の事項】
 福祉大臣からnyoiboxへの会計付加情報の連携を3月15日までに実施予定。NICollabo360承認伺いデータと福祉大臣の自動仕訳処理連携を3月31日までに実施予定。

...ITツールのカバー範囲
 ...業務内容
 ...ITツール間で連携済み
 ...業務の流れ
 ...データ
 ...実績報告後に実現予定